

中酪情報 No.601

2022年9月30日発行
毎号奇数月末発行

発行：一般社団法人 中央酪農会議
編集・発行人：寺田 繁
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
一般社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295
<http://www.dairy.co.jp/>
(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

編 集 後 記

豪州版「全国酪農家調査」の結果は、豪州において酪農経営を継続するうえで最大の課題が肥料・燃料価格の高騰と労働力の不足であることを示唆しています。直近3年間の乳価は高水準で推移しているにもかかわらず、それらに起因する生産コストの上昇を調査対象者の約6割が懸念しています。

将来の酪農をめぐる情勢がどうなるのか、このことを見きわめるためには、現在のような情勢になぜなったのかを考える際、その原因を「循環的要因」と「構造的要因」とに区別する必要があります。生産コストに関しては、肥料・飼料価格の高騰のような「循環的要因」は時間が経てば、やがて元の水準に戻る可能性があるのに対し、労働力の不足のような「構造的要因」は時間が経っても元の水準に戻ることは期待できないという大きな違いがあるからです。

このようなことを踏まえ、豪州においては、酪農家の多くが中・長期的には飼養頭数規模の拡大を視野に入れつつも、短期的には農場のメンテナンス、設備または新技術への投資などによる経営の最適化と効率化という慎重かつ戦略的な計画を検討しているようです。